

2003年9月16日

会社名 株式会社 大丸
 コード番号 8 2 3 4
 代表者名 取締役会長 奥田 務

2003年8月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	8 月 度	3 ~ 8 月 累 計
百貨店業	8.1	6.9
スーパーマーケット業	1.6	2.5
卸売業	9.5	8.2
その他事業	15.3	11.9
連結合計	2.3	3.3

(注) 売上高にはその他営業収入を含めていない。また、各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	8 月 度		3 ~ 8 月 累 計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	5.0	0.7	1.7	1.2
梅田店	0.8	0.3	0.6	0.0
東京店	8.6	1.7	1.2	3.3
京都店	1.8	0.3	0.2	0.7
山科店	1.6	-	0.2	-
神戸店	3.4	0.2	1.7	0.4
新長田店	7.5	-	4.9	-
須磨店	1.1	-	4.4	-
芦屋店	2.2	-	4.1	-
札幌店	-	-	-	-
直営10店舗計	10.5	-	8.9	-
" 除く札幌店	0.5	0.7	0.4	1.1
博多大丸	1.3	-	0.3	-
下関大丸	0.2	1.4	0.1	2.1
高知大丸	3.4	12.3	2.4	7.5
今治大丸	7.8	8.0	2.5	3.4
百貨店業合計	8.1(0.6)	-	6.9(0.2)	-

(注)・博多大丸は本年3月より長崎大丸と合併したため、対前年増減率は長崎大丸分を含む。

・直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸の5店計である。

・百貨店合計売上高の()内数値は、除く札幌店の既存店対前年増減率。

2) 札幌店(単位:百万円、千人)

	8 月 度		3 ~ 8 月 累 計	
	合計	入店客数	合計	入店客数
実 績	2,843	1,731	19,550	12,811

(売上動向)

- ・8月は21億円の目標に対して2,843百万円で35.4%増(3~8月累計:対目標10.5%増)
- ・商品別では、観光客やお盆の帰省客で大いに賑わったため、和・洋菓子とレストランを中心に食品の売上が絶好調であった。
- ・ハンドバッグやカバン・旅行用品及び紳士ヤングファッションなどが目標値を大きく上回った。

3) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	8 月 度		3 ~ 8 月 累 計	
	合計	除く札幌店	合計	除く札幌店
紳士服・洋品	13.5	5.5	11.6	4.5
婦人服・洋品	13.3	4.0	11.3	1.8
子供服・洋品	16.2	4.9	10.0	1.9
その他の衣料品	16.1	9.5	10.4	4.4
衣料品計	13.6	4.5	11.3	2.5
身の回り品	6.6	3.9	5.7	4.7
家具	2.2	4.0	6.1	12.3
家電	17.4	17.4	14.0	14.0
その他の家庭用品	10.9	3.9	7.9	1.9
家庭用品計	6.3	0.0	2.3	3.4
食 料 品	10.4	1.1	8.8	1.2
食堂・喫茶	19.1	6.3	23.2	4.7
雑 貨	8.3	1.6	2.3	3.6
サ ー ビ ス	83.1	77.5	54.7	50.5
そ の 他	47.8	52.8	12.8	20.8
合 計	10.5	0.5	8.9	0.4

3. 概況

1) 百貨店業

- ・ 8月の百貨店業全体の売上高は、対前年8.1%増、除く札幌店では、対前年0.6%増となった。
- ・ 店別売上高では、主要5店舗の内、東京店だけが前年値を下回った。
東京店の前年売上には幕張メッセで開催された恐竜博の売店売上が含まれており、その売上が控除すると、対前年微減であった。
- ・ 定価や売場特価による売上が前月に引き続き好調であった。
- ・ 入店客数は主要5店舗とも対前年マイナスの伸びであったが、買い上げ件数、購買単価のアップにより売上高は前年を上回った。
- ・ 商品別では、婦人・紳士服など衣料品が好調であった。冷夏の7月と比べて、8月は気温の上昇とともに水着や夏物衣料がよく動いた。また、セール強化、晩夏商材の投入による売上の嵩上げもあった。

2) その他

- ・ 博多大丸は、雨の日が多く(天神店では13日、対前年5日増)苦戦したが、婦人雑貨、食品等が好調で対前年1.3%増となった。
- ・ 高知大丸は、営業日数が対前年1日増加、食品売場のリニューアル(5/31)効果と高知西武閉鎖の影響で入店客数が対前年12.3%の大幅増となり、食品、婦人雑貨を中心に好調に推移。
- ・ スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、対前年1.6%であった。
関西地区(27店舗)の売上は対前年0.9%、関東地区(38店舗)は同2.2%と、両地区とも前年割れであった。
- ・ 卸売業の大丸興業売上高については、電子部品及び水産を中心に食品等が悪く対前年9.5%であった。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR推進部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343